

(別紙様式)

「農地の日」活動実績書

宮古市農業委員会

1 活動実績

年月日 (又は期間)	活動事項	具体的な取組内容	参加者等
令和8年 7月～10月	農地パトロール (利用状況調査) の実施	・推進班ごとに活動日を設 定し、農地パトロールを 実施中。	・農業委員 10 名 ・農地利用最適 化推進委員 19 名
7月13日	不作付け地解消事 例の視察	・区界黒沢地区の不耕作地 をキャベツの圃場として 再生した状況について、 受け手から説明を受けな がら現地視察を行った。	・農業委員、農 地利用最適化推 進委員 17 名 ・農業委員会事 務局職員 3 名

※ 市町村広報又は農業委員会だよりに掲載(予定)の有無： 有 ・ 無

注：活動実績の提出の際には、次の資料を添付してください。

①市町村広報又は農業委員会だよりに掲載した記事の写し、②パンフレット・チラシ等、③活動の様子がわかる写真、④その他関係資料

2 活動に取り組んでの感想

所有者の高齢化により、長年耕作されていなかった広大な農地が管理・耕作されキャベツの苗が一面に植えられていた光景に参加した委員は皆驚いた様子だった。

大規模な農地を探していた受け手と、市や農業委員など関係機関の協力で実現した不作付け地の解消は、現在手続き中のものを含めて合計で45haとなる見込みである。

一連の取り組みが実を結び、形となった事例を委員が直接現地に足を運び確認できたことは、今後の活動においてモチベーションの向上につながったものと思われる。

宮古市農業委員会 令和8年度「農地の日」の取り組み
不作付け地解消事例視察



(別紙様式)

「農地の日」活動計画書(実績書)

大船渡市農業委員会

1 活動計画（実績）

年月日 (又は期間)	活動事項	具体的な取組内容	参加者等
令和 8 年 7 月 15 日 (水)	遊休農地解消活動 (樁の植樹)	遊休農地へのヤブツバキ の苗 10 本の植樹並びにラ ベンダー及びハーブの苗 の植栽	農業委員・農地 利用最適化推進 委員 12 人 事務局 2 人 農林課 3 人

※ 市町村広報又は農業委員会だよりに掲載（予定）の有無：有・無

注：活動実績の提出の際には、次の資料を添付してください。

①市町村広報又は農業委員会だよりに掲載した記事の写し、②パンフレット・チラシ等、③活動の様子がわかる写真、④その他関係資料

2 活動に取り組んでの感想

※ 良かったこと、反省点、改善点等があれば記載してください。

遊休農地の解消に向けた有効活用を図るため、大船渡市農業委員会委員及び農地利用最適化推進委員が大船渡市と共同で樁の植樹を実施したことは、大きな意義があった。

また、7月2日（木）に実施した岩手町農業委員会との情報交換会及び先進地視察研修において寄贈いただいたラベンダー及びハーブの苗についても併せて植栽した。

今後は、その取組について、「おおふなと農業委員会だより」に記事を掲載し、10月に発行する予定である。

遊休農地の草刈り ①



遊休農地の草刈り ②



ツバキの植栽 ①



ツバキの植栽 ②



(別紙様式)

「農地の日」活動実績書

陸前高田市農業委員会

1 活動実績

年月日 (又は期間)	活動事項	具体的な取組内容	参加者等
令和8年 7月14日(火)	①出発式 ②農地パトロール ③農地の日の啓発活動	①農地パトロール出発式 ②パトロール及び若手農業者のほ場視察と意見交換、農福連携事業者の説明と現場視察を行った。 ③商業施設前で、農地を守り活用する啓発用の「農地の日」のパンフレット、全国農業新聞見本紙、農業者年金チラシを配布し、普及推進活動を行った。	・農業委員 10名 ・農地利用最適化推進委員 10名 ・事務局 3名

※ 市町村広報又は農業委員会だよりに掲載の有無：☒有 ・ ☐無

添付資料

- ① 広報りくぜんたかた（令和8年8月5日発行）
- ② 東海新報（令和8年7月17日号）
- ③ 写真
- ④ 宣伝活動啓発物品

2 活動に取り組んでの感想

委員20名が参加し、出発式後、マイクロバスで移動し、農地パトロールを行った。今年度は、イチゴの未収穫期の収入源としてネギ栽培を導入した若手認定農業者のほ場視察と意見交換を行った。次に、農福連携の取り組みを行っている福祉事業者を訪問し、取り組み内容の説明を受け、選別作業を視察した。

今回の活動を通し、未収入期間解消の必要性和、産業と福祉をマッチングする農福連携の大切さについて、現状の理解と委員間の共有を図ることができた。

ほ場視察



啓発活動



配布物品



集合写真



農福連携選果



消防・防災フェスタ2026



市では、普段は経験することができない放水、救助体験、防災そばっち号での地震体験、防災情報の展示などを「見て」「触れて」「体験」することで、防災意識の向上を図ることを目的とした「消防・防災フェスタ2026」を開催します。

今回のテーマは「震災から15年、伝承と記憶を未来につなぐ」とし、初参加の自衛隊による炊き出しも行われます。子どもから大人まで体験しながら学べる内容が盛りだくさんです。ぜひご来場ください。

◆日時：8月23日(日)午前10時～午後3時(荒天中止)

◆会場：アバッセたかた周辺(防災資料展示、トークセッションはアバッセたかたパブリックスペースで実施予定)

◆内容：各種体験…消防体験、地震体験、ドローン操縦体験

実演…県防災ヘリ救助訓練、災害救助犬捜索訓練、自衛隊による炊き出し

展示など…自衛隊車両展示、釜石海上保安部ブース、盛岡地方気象台ブース、NTT東日本ブース、防災マイスターの集いによる防災啓発コーナー など

※内容は一部変更になる場合があります。



防災そばっち号で地震体験



消防車や救急車に乗って写真撮影



消防服を着て放水体験



ロープブリッジ渡過訓練を体験



防災マイスターの集いによる防災啓発



市内小中学校の防災の取組を展示

問い合わせ先 市役所防災課(内線703)

「農地の日」活動を実施



毎年7月15日は、県の農業委員会組織が定めた「農地の日」です。

この日に併せて、県内の農業委員会では一斉に多彩な取り組みを行っています。本市では、7月14日(火)に農業委員および農地利用最適化推進委員計20人が、農地や生産現場の視察と啓発活動を行いました。

当日は、ネギ栽培を拡大した若手農業者のほ場視察の後、意見交換を行ったほか、就労継続支援B型事業所「朝日のあたるファーム」での農福連携の取り組みを視察しました。

視察などの後には、アバッセたかたで農地の日のパンフレットや全国農業新聞の見本紙、農業者年金のチラシなどを市民に配布。食料の生産や農村空間の形成、洪水防止などの多面的な機能を有し、人々の暮らしと命を支える重要な資源となっている農地や農業を守るよう呼びかけを行いました。



若手農業者のほ場視察



農福連携作業中の選果場視察



アバッセたかたで啓発活動

各地の取り組み視察

市農業
委員会
農地パトロール実施

陸前高田

陸前高田市農業委員会（戸羽正光委員長、委員11人）による農地パトロールは14日、市内で行われた。参加者は、圃場や作業場の視察と宣伝活動を通じ、農地確保と有効利用、遊休農地の発生防止、解消に向けた意識を高めた。

農地パトロールは、県農業会議が定める「農地の日」（7月15日）に合わせ実施。同日は、農業委員と農地利用最適化推進委員20人が参加し、高田市の役所で出発式を行ったあと、視察場所に移動した。

横田町字砂子田の圃場では、イチゴ農家の松田俊一さん（42）方を訪問。松田さんは約19坪のハウス1棟でイチゴを栽培しており、

現在は未収穫期間を利用してネギ栽培を行うなど、経営拡大を目指している。

委員らは、期間の有効活用策に関心を持った様子で見学。若手農家の新たな取り組みから学びを得た様子だった。

続いて訪れた米崎町字松

峰の（一財）みらい創造財団朝日のあたる家では、農業に特化した就労継続支援B型事業所「朝日のあたるファーム」における農福連携の取り組みを視察。施設でのピーマンの選別作業を確認し、産業と福祉を掛け合わせる意義などを感じ取った。

視察後は、高田町のアバッセたかたで宣伝活動を展開。農地の日をPRするチラシや農業新聞の見本紙、

農業者年金のパンフレットなどを配布し、活動の普及に努めた。



朝日のあたるファームでピーマンの選別作業を見学する委員ら

(別紙様式)

「農地の日」活動実績書（令和 8 年 8 月 10 日 現在）

釜石市農業委員会

1 活動計画実績

年月日 (又は期間)	活動事項	具体的な取組内容	参加者等
7 月 16 日 (木) ～10 月下旬	遊休農地の有効 利用及び解消	遊休農地を活用し、地域振 興作物であるラグビーカ ボチャを栽培する。 7 月 16 日 (木) 13 : 30～ ① 畝立て作業 ② 畝へのマルチ張り ③ 鳥獣対策用電気牧柵設 置 8 月 6 日 (木) ① 播種作業 ② 除草剤散布 8 月 7 日 (金) 以降 ① 見回り活動 ② 農薬散布 ③ 圃場管理 10 月下旬～ (予定) ① 収穫作業 ② 収穫物の活用 ・学校給食センターへ寄贈 ・軽トラ市でのお振舞い等	・農業委員 ・農地利用最適 化推進委員 ・事務局

※ 市町村広報又は農業委員会だよりに掲載（予定）の有無： 有 ・ 無

注：活動実績の提出の際には、次の資料を添付してください。

①市町村広報又は農業委員会だよりに掲載した記事の写し、②パンフレット・チラシ等、③活動の様子がわかる写真、④その他関係資料

2 活動に取り組んでの感想

活動当日は各日程とも 30 度近い気温であり、休憩・水分補給等の熱中症対策を行いながら作業を行いました。7 月 16 日（木）は畝立て、マルチ張り、電気牧柵の設置作業等の播種前の準備作業、8 月 6 日（木）は播種作業、除草剤散布等を行いました。

今後の定期的な見回り活動、圃場の管理及び農薬散布等の作業については、委員への参加を広く呼び掛け、収穫作業まで委員会全体の活動として継続していきます。

◆農地の日 活動の様子 7月16日(木)



◆農地の日 活動の様子 8月6日(木) 播種作業



(別紙様式)

「農地の日」活動実績書

住田町農業委員会

1 活動実績

年月日 (又は期間)	活動事項	具体的な取組内容	参加者等
令和8年7月23日	農地パトロール の実施	地域推進班による農地 パトロール	農業委員・農地利用 最適化推進委員

※ 市町村広報又は農業委員会だよりに掲載~~-(予定)-~~の有無：☒有・☐無

注：活動実績の提出の際には、次の資料を添付してください。

①市町村広報又は農業委員会だよりに掲載した記事の写し、②パンフレット・チラシ等、③活動の様子がわかる写真、④その他関係資料

2 活動に取り組んでの感想

※ 良かったこと、反省点、改善点等があれば記載してください。

写 真





広報

すみだ

2026

6

No.801



ナイスプレー！ 笑顔で交わすグータッチ

6月13日・14日に気仙地区中学校総合体育大会が開催されました。学校の垣根を越えて、仲間と全力で戦い抜いた選手たち。中学生のひたむきな姿が印象的でした。

電 46-3861
問 町農業委員会

調査のため農地に立ち入る
場合がありますので、ご理解
とご協力をお願いします。

農地は、洪水防止や景観の
形成など、私たちの暮らしを
支える大切な資源です。
岩手県農業会議では、農
地法制定にちなみ7月15日を
「農地の日」とし、県下一斉
の取り組みを行っています。
町農業委員会では、7月か
ら9月にかけて、遊休農地や
違反転用の防止を目的とし
た農地パトロールを実施しま
す。

お盆期間中のし尿収集の休
業日は次のとおりです。お盆
前のし尿収集を希望される場
合は、お早めにお申し込みく
ださい。

7月15日は「農地の日」



お知らせ Information



住田町

開庁日時

平日（月～金）8:30～17:15

所在地

〒029-2396

気仙郡住田町世田米字川向88-1

問合せ

TEL 0192-46-2111（代）

FAX 0192-46-3515

住田町の人口

総人口 4,454人（-21）

うち男性 2,219人（-9）

うち女性 2,235人（-12）

世帯数 2,010世帯（+5）

※5月末日現在（ ）内は前月比

お知らせ

申 申込や予約が必要

E メールアドレス

問 お問い合わせ先

電 電話番号

※申込が不要の場合は、記載しておりません。
※掲載の情報は6月25日現在のものです。

令和9年4月1日採用予定者 令和8年度 住田町職員募集（後期日程）

募集職種 ※受験資格について は当該サイトにて 確認を	一般事務職	若干名
	一般事務職（建築技術職（育成枠））	
	一般事務職（社会福祉士）	1名
	建築技術職	1名

■応募期間／8月31日(月)まで

■試験日および試験内容／

- 1次試験…9月10日(木)～16日(水) ※予定
オンラインにて人物試験(個別Web面接試験)
- 2次試験…9月30日(水)～10月19日(月)
SPI3テストセンターにて(総合適正検査(能力検査／性格検査))
- 3次試験…11月中旬～下旬 ※予定
町役場または周辺施設にて人物試験(個別面接試験)

申 住田町採用専用ページ(PUBLIC CONNECT)から
申し込みを

問 総務課 行政係 電 46-2111

詳細は
こちらから



住田町特産品販売センター
gusto sumita
イーガストすみた
住田町世田米字赤畑12-2
☎0192-47-5666 FAX 0192-47-5667

あなたの夢をお手伝いします!

基礎技能 + 目視外講習会

実施日／7月15日～17日 3日間

会 場／遠野ドライビングスクール

料 金／181,100円（税込）

三陸ドローンスクール

お問
い合
せは

TEL 0198-63-2080（遠野DS） 三陸ドローンスクール 検索

(別紙様式)

「農地の日」活動実績書

大槌町農業委員会

1 活動実績

年月日 (又は期間)	活動事項	具体的な取組内容	参加者等
R8. 7. 16	農地パトロールの 実施	農地利用状況調査の実施	農業委員 2 名、 推進委員 2 名、 事務局職員 1 名

※ 市町村広報又は農業委員会だよりに掲載（予定）の有無： 有 ・ ☒ 無

注：活動実績の提出の際には、次の資料を添付してください。

①市町村広報又は農業委員会だよりに掲載した記事の写し、②パンフレット・チラシ等、③活動の様子がわかる写真、④その他関係資料

2 活動に取り組んでの感想

※ 良かったこと、反省点、改善点等があれば記載してください。

(別紙様式)

「農地の日」活動実績書

山田町農業委員会

1 活動計画

年月日 (又は期間)	活動事項	具体的な取組内容	参加者等
令和8年6月3日	大豆栽培体験	小学校の授業の一環で小学校児童を対象に大豆の栽培体験を実施(播種作業) ※秋には収穫体験実施	農業委員 農地利用最適化推進委員 事務局職員
令和8年6月～8月	遊休農地解消事業	豊間根地区の遊休農地化した農地を耕起の上コスモスの播種を実施	農業委員 農地利用最適化推進委員 事務局職員
令和8年7月15日	のぼり旗設置	農地の日を啓発するのぼり旗を設置	事務局職員

※ 市町村広報又は農業委員会だよりに掲載(予定)の有無：☒有・☐無

注：活動実績の提出の際には、次の資料を添付してください。

①市町村広報又は農業委員会だよりに掲載した記事の写し、②パンフレット・チラシ等、③活動の様子がわかる写真、④その他関係資料

2 活動に取り組んでの感想

※ 良かったこと、反省点、改善点等があれば記載してください。

山田町立豊間根小学校の3年生児童を対象に行った大豆体験では、児童が地元農業者等の説明を踏まえ播種作業に取り組んだ。作業後、児童から多くの質問があり有意義なものとなった。

令和7年度から取り組んでいる遊休農地解消事業については、再び耕起の上、除草剤を散布し、コスモスを播種した。天候が安定しないため時間を要した。



遊休農地解除除草剤散布後(岩手県山田町豊間根地内)

撮影	令和8年6月30日
----	-----------



遊休農地解除コスモス播種後(岩手県山田町豊間根地内)

撮影	令和8年8月27日
----	-----------



「農地の日」のぼり旗設置(その1)

場 所	山田町役場前(山田町八幡町)
年 月 日	令和8年7月15日



「農地の日」のぼり旗設置(その2)

場 所	山田町役場前(山田町八幡町)
年 月 日	令和8年7月15日

食育の取り組みも大切にしています

学校給食は、子どもたちに栄養を届けるだけでなく、「食」を通じて学ぶ大切な教材でもあります。給食の時間や授業では、栄養バランスや食事のマナー、食材の魅力などを学ぶほか、町の食材や生産者の思いに触れる機会を設けています。

食べ物への感謝の気持ちを育むとともに、地域の食文化や地産地消への理解を深める食育を推進しています。



大豆の種まき体験の様子



町の食材を学ぶ授業の様子

(別紙様式)

「農地の日」活動計画書(実績書)

岩泉町農業委員会

1 活動計画(実績)

年月日 (又は期間)	活動事項	具体的な取組内容	参加者等
令和8年7月 21日	岩泉町農業委員・ 農地利用最適化推 進委員連絡調整会 議	農地パトロール実施計画 の説明・検討を行う	農業委員 農地利用最適 化推進委員 事務局職員

※ 市町村広報又は農業委員会だよりに掲載(予定)の有無： 有 ・ 無

注：活動実績の提出の際には、次の資料を添付してください。

①市町村広報又は農業委員会だよりに掲載した記事の写し、②パンフレット・
チラシ等、③活動の様子がわかる写真、④その他関係資料

2 活動に取り組んでの感想

※ 良かったこと、反省点、改善点等があれば記載してください。



(別紙様式)

「農地の日」活動計画書(実績書)

田野畑村農業委員会

1 活動計画(実績)

年月日 (又は期間)	活動事項	具体的な取組内容	参加者等
令和8年6月22日	農地利用最適化推進検討会	8～12月までの農地パトロール実施計画の検討・意見交換を行うキックオフミーティングを開催する。	農業委員 農地利用最適化推進委員
令和8年7月13日から15日	「農地の日」の ぼり掲示	役場庁舎前に「農地の日」ののぼりを掲示する。	

※ 市町村広報又は農業委員会だよりに掲載(予定)の有無： 有 ・ 無

注：活動実績の提出の際には、次の資料を添付してください。

①市町村広報又は農業委員会だよりに掲載した記事の写し、②パンフレット・チラシ等、③活動の様子がわかる写真、④その他関係資料

2 活動に取り組んでの感想

※ 良かったこと、反省点、改善点等があれば記載してください。

「農地の日」活動実績写真

①



②

